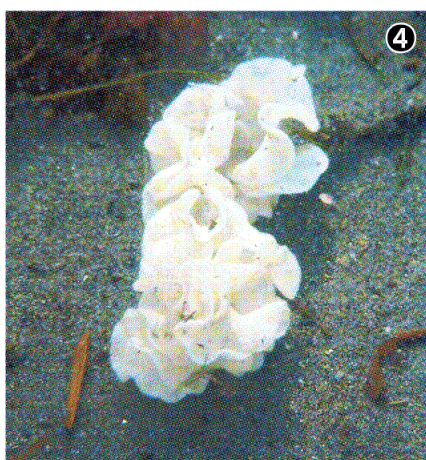




①ミスガイ②砂から糸状のえらだけを出しているミズヒキゴカイ③伸ばした口吻でミズヒキゴカイ(右)を捕らえるミスガイ④ミスガイの卵塊。白いフリルのように見えます



「ミスガイ」を知っていますか？
広い意味ではウミウシの仲間に含まれ、名前は貝殻の表面にある模様を御簾(すだれ)に例えたものです。体長は5センチ程度です。
干潟やアマモ場、潮だまりなどの砂地に生息し、ミズヒキゴカイという砂に潜るゴカイの仲間を食べます。ミズヒキゴカイは普段、糸状のえらだけを外に出しており、危険を察知すると素早く砂の奥へと逃げます。ミスガイには、このゴカイをうまく捕らえる隠し技があります。
ミスガイにミズヒキゴカイを与えると、口元に触れた途端、口から長い管(口吻)が伸びてきます。獲物



ミスガイ 獲物捕らえる隠し技

が逃げるほどぐんぐん伸び、体長と同じくらいになることも。よく見ると、口吻は蛇腹状に折り畳まれ、小さな口に収まるつくりです。さらに、先端はゾウの鼻先のように物をつかめます。動き回るゴカイをつかんで離さず、管の中へと引き込んで、ついには飲み込んでしまいます。

海で捕食中のミスガイを観察すると、頭部は砂に軽く押し込むだけで、口吻を伸ばしてゴカイを追いつめ捕らえているのがわかります。

ミスガイには貝殻があり、砂の中を素早く移動できません。発達した伸縮自在の口吻は、砂中を自由に逃げるミズヒキゴカイを捕らえるのに役立つしていると考えられます。冬から春にかけて、磯へと続く砂浜で見かける、白いひらひらしたフリル状のものはミスガイの卵のかたまりです。近くでミスガイが砂に隠れているかもしれません。ぜひ探してみてください。